

一級河川 新堀川
河川改修事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備(中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地：館林市入ヶ谷町～邑楽郡邑楽町赤堀
- 河川名：一級河川 新堀川
- 事業内容：河道拡幅 延長 3,890m
- 全体事業費：約32億円
- 事業期間：平成30年度～令和12年度以降
- 計画規模：概ね10年または20年に1回程度発生すると予想される洪水による氾濫を防止することを目標
- 現況流下能力：新堀川 10 m³/s
- 計画流下能力：新堀川 45 m³/s

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします



- ・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。(地元住民)
- ・水質が悪い。(地元住民)

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積の減少	233ha
想定氾濫区域内の浸水戸数の減少	97戸



実施後
183ha
0戸

※一級河川新堀川および新堀川導水路河川改修事業の実施後による効果

実施前

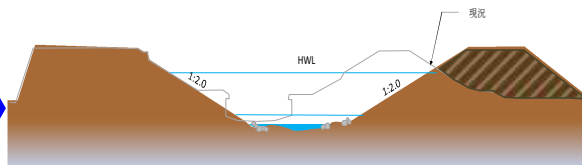
- ◆川幅が狭く、大雨の際に周辺の水田への浸水被害が発生していました。



被害の状況 (H29台風21号)

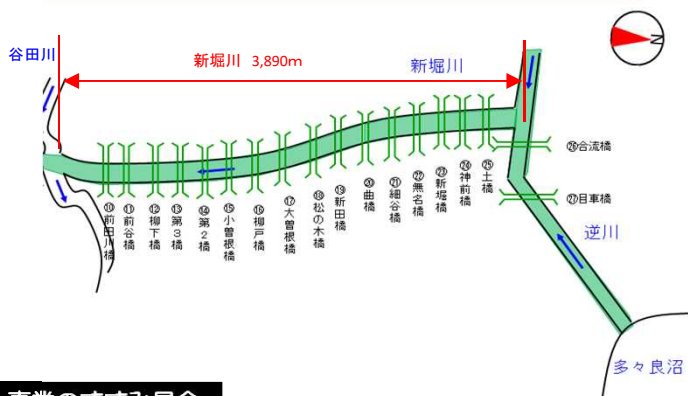
実施後

- ◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



河道拡幅後 (イメージ)

事業の進捗状況 (R4年3月現在)



今、何をしているか

令和4年度は改修計画の検討を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了